



藤原 孟 議員  
(緑政会)

**問** 東京五輪開催決定で大都市再開発事業が動き始め、町も公住、橋梁の長寿命化工事が計画され、切れ目のない建設活動が想定される。一方、工事関係者の人材不足や資材の高騰傾向が始まり、対策として国は現場代理人関係の基準緩和を示した。入札不調対策として、柔軟な工期設定、工事の前倒し発注や積算歩掛りの適時見直し、見積り活用方式の導入を今から検討すべき。

**町長** 工期の設定は、北海道の標準工期を基本とし、現場付近の交通量が多い、軟弱な地盤であるなど、その現場の状況を把握し、工期を設定している。着工後において設計変更や天候不順等が発生した場合は、供用開始などに影響を及ぼさないよう、受注者と綿密な工程計画の確認を行い工期変更の対応をしている。

工事の早期発注については、凍上の影響を受ける北海道特有の気候では、実質の工事着手が5月と

**問** 町発注工事の円滑な入札、施工を行うために  
**答** できるだけ市場価格と発注価格が乖離(かいり)のないように進めていきたい

なるため、これ以上の前倒しを行う事は、難しいものと考えている。工事の設計図書は、北海道の積算基準書により積算し作成しており、北海道から変更等の通知があった場合、その通知時点で積算に反映させている。

見積り活用方式は、北海道の単価などと実勢価格が乖離している場合に採用することが想定されるが、通常の積算に比べると手続に期間を要し、発注が遅れるという問題があるものと考えているが、入札の不調の件数の増加によって、国や北海道の動向を見ながら、今後検討が必要になる場合が起こり得るものと考えている。

町長 今年度1カ所の公園については、老朽度合いが顕著なことなどから、使用環境の向上を図るため、トイレを新たなものに更新をする。残る5カ所の公園の6基については、今後、公園管理を行っている関係公区から管理状況や利用実態などを聞き取り、必要性や使用環境の向上を図るための検討・協議を行っていききたい。

**問** 小規模公園のトイレ整備について  
**答** 今年度1基更新し、残り6基についても検討・協議したい

**問** 遊具は更新されたが、トイレが汲み取り方式の公園があり、子どもの利用がほとんど不



旭町三角公園のトイレ

※「ビブリオバトル」とは他の人に勧めたいとする本を一冊持ち寄って、本の魅力を紹介しあう書評ゲーム

**問** ビブリオバトルを教育現場に導入を  
**答** 検討すべき課題も多く、積極的に導入することは考えていない

**問** 人を通して本を知る、本を通して人を知るをキャッチフレーズにして誰でも開催できる本の発表会であり、活字に親しむ学校づくりを通じた児童生徒の言語能力向上を目指し、道内では室工大生が開催している。その効果として室蘭市の空洞化が目立つ商店街に若い人が集まるようになり、教育や地域おこし、仲間づくりなど、効果が生まれている。そこで町の教育現場に導入すべき。

**教育長** ビブリオバトルの教育現場への導入については、小・中学生にとってはルールが難しいことや、発表に子どもたちが優劣をつけることなど、検討すべき課題も多くあることから、現段階で積極的に導入ということは考えていないが、言語能力の向上等に有効な一つの手段であるので、情報の収集、学校への情報の提供に努めていきたい。